

第3期中期計画（2018～20年度）

～関西ビジョン2020に向けて～

関西ビジョン2020と中期目標

2007年 ● **関経連 使命の再定義**
 常に関西全体を意識し、委員会等での企業人の活発な議論を源泉に、先取性や独自性に富んだ調査研究活動を行い、これにもとづく政策提言や実践的アクションにより、関西から日本経済の発展をめざす

2008年 ● **関西ビジョン2020の策定**
【関西の「ありたき姿」】
 ・国内外からさまざまな人・企業が集まり、多様性を高めて活力に満ち、世界の持続的発展に貢献する課題設定・解決力を持ち、世界の人々の生活をおもしろく豊かにする製品・サービス等を生み出し続ける地域
 ・関西は「突破力」を発揮し、世界や日本に貢献し続けることで、世界中の人々が「関西、おもしろい！ - Dynamic Kansai! 」と思ってくれる地域

2012 ~ 2014 年度 **第1期**
【関西の「ありたき姿」の具体像】
 ・日本の双発エンジンとして日本をリードする！
 ・アジア有数の中核都市圏(ハブ)となる！

2015 ~ 2017 年度 **第2期**
【関西の「ありたき姿」の具体像】
 ・日本の双発エンジンとして日本をリードする！
 ・アジア有数の中核都市圏(ハブ)となる！

2018 ~ 2020 年度 **第3期**
【関西の「ありたき姿」の具体像】
 ・関西が自らの力で日本をリードする！
 ・アジア有数の中核都市圏(ハブ)となる！

活動の
中期
指針

地域の自立
関西はひとつ

強い産業の
実現

アジアとの
共生

活動の
中期
指針

「自立・地域力」
アップで
わが国の変革を先導

最先端の
「技術力・創造力」で
世界をリード

アジアでも有数の
「多様性・活力」に
満ちた地域に

中期
目標

関西から
新しい国づくりを
推進

関西を
国際競争に
勝ち抜ける地域に

関西と
アジア太平洋地域の
Win-Win関係を構築

東日本大震災からの復旧・復興に貢献

中期
目標

東京一極集中是正と
地方創生をリードする
関西モデルの構築

世界トップレベルの
イノベーション拠点
への成長

アジアとの人・ビジネスの
交流拡大・連携強化
による活力ある地域への成長

中期
目標

関西の成長を支える
基盤・環境を整備する

将来の関西を支える
産業クラスター群を
形成する

アジアなど世界各国
から関西に集う
活力を最大化させる

第3期中期計画策定にあたっての“2つ”の視点

1 Look West

- ・ 関西から見て東にある東京ではなく、西にあるアジアに目を向ける。
- ・ 「東京一極集中を是正すべき」と言うだけでなく、関西がどのように発展していくのかを自分たちで考え、実行していく。

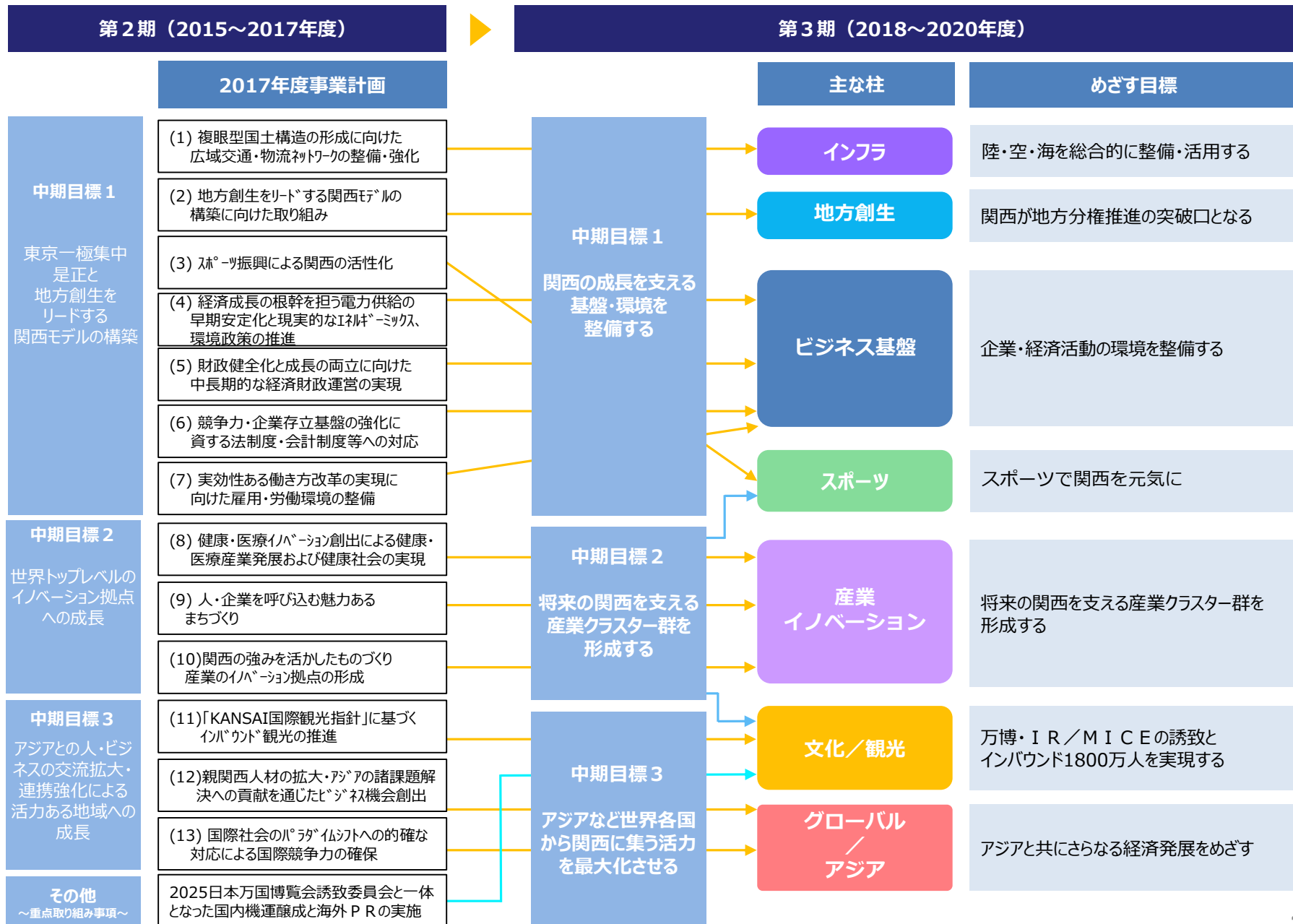
2 グローバルな視点での舞台としての関西

関西にいる企業・人材が活躍するのはもちろんのこと、関西の外から関西に来てもらって、関西を舞台として活動をしてもらう。日本のほかの地域からアジアから、世界から企業・人が関西に来て、関西を舞台に活躍する。そのための条件を整えていく。

上記の2つの視点で進めるにあたり、関西がグローバルに存在感を高めていくためにも、世界共通の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、各事業を通じて貢献していくという意識のもと取り組んでいく。

なお、関西ビジョン2020の後の次の中長期ビジョン（Beyond 2020）を第3期中期計画の期中に策定する。

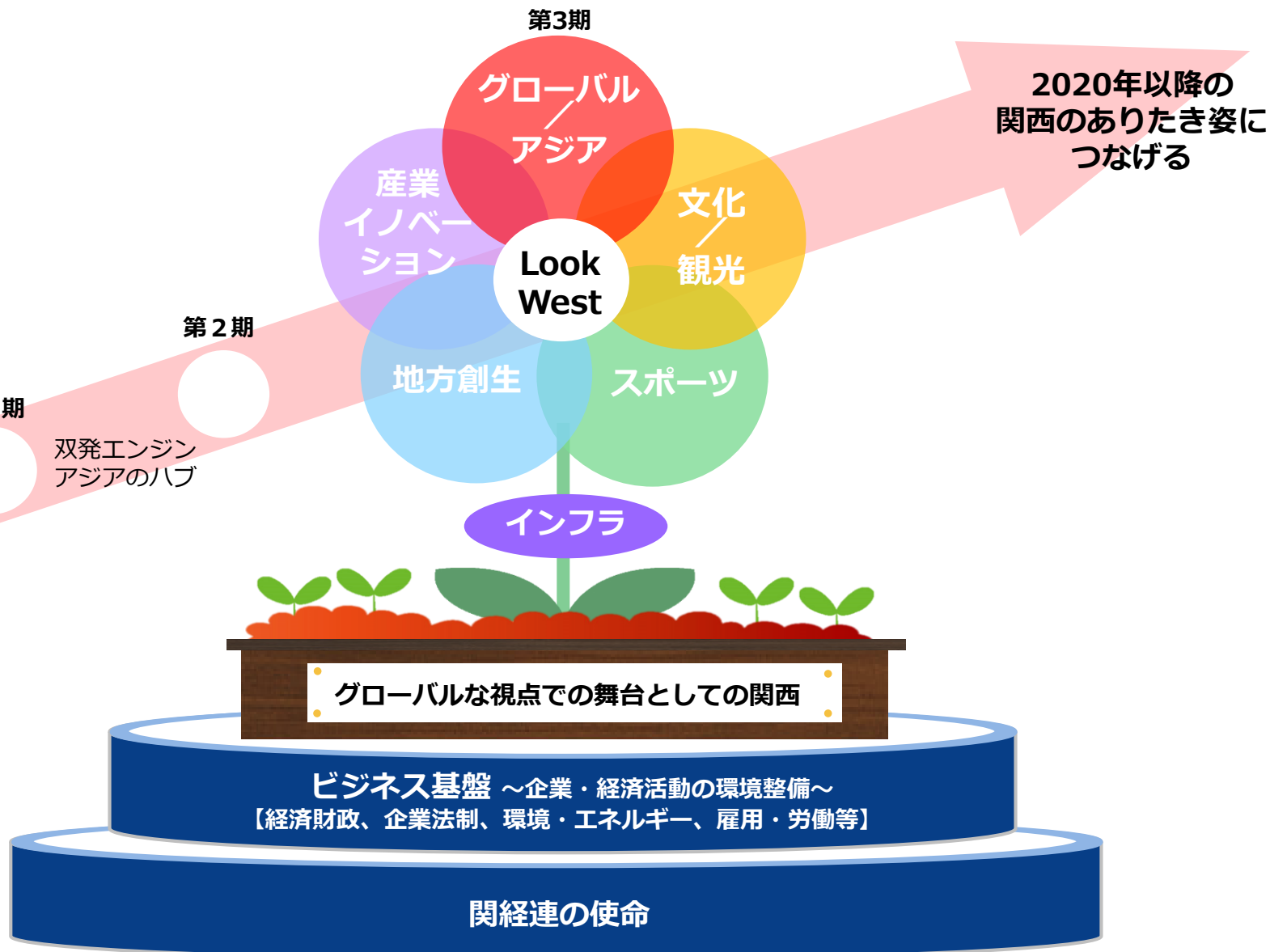
第2期・第3期中期目標・事業のつながり



第3期中期計画 イメージ

関西ビジョン2020 ありたき姿

国の内外からさまざまな人々や企業が集まり、ますます多様性を高めて活力に満ち、世界の持続的発展に貢献する課題設定・解決力を持ち、世界の人々の生活を面白く豊かにする製品・サービス等を生み出し続けるような地域



【産業イノベーション】 将来の関西を支える産業クラスター群を形成する

柱となる
事業

- 健康・医療、航空機、環境・エネルギー、AI・IoT／ロボットなど成長分野における産業クラスター形成
- AI・IoT活用による技術革新や生産性向上
- ベンチャーを生み出すエコシステムづくり
- イノベーションを支える拠点づくり

関経連としての取り組み

健康・医療

- ・「関西健康・医療創生会議」との連携
- ・データプラットフォームづくり
- ・人材育成（データサイエンティスト）

航空機

中堅企業育成
新規参入・マッチング支援
(認証取得支援、商談会)

環境・エネルギー

水素社会実現に向けた機運醸成
新規参入に向けたマッチング支援

ベンチャー・エコシステム

- ・うめきた2期における事業者×ファンド×アクセラレータ連携
- ・実効性ある支援機関ネットワーク構築

AI・IoT／ロボット

- ・データプラットフォームづくり+人材育成
- ・AI・IoT活用事例のデータバンク整備と
- ・新サービス事業化支援
- AI・IoTを活用したサービス産業の生産性向上支援
- ・けいはんな等での実証支援(AI、自動運転など)

大学との連携強化

イノベーションを支える拠点づくり

これまで築いてきた資産の最大限の活用、最適な役割分担の実現に向けた働きかけ
(けいはんな・うめきた・中之島4丁目・神戸医療産業都市など)

連携・協力先

【グローバル/アジア】アジアと共にさらなる経済発展をめざす

柱となる 事業

- アジア各国と関西双方の経済発展に向けたプラットフォームづくり
- 各国における三現主義の取り組み
- 企業のグローバル化に資する人材の育成と関西での活躍機会の確保

関経連としての取り組み

アジア各国と関西双方の経済発展に向けたプラットフォームづくり

- Two Wayの視点で、ビジネスメイキングを図る。
 - ①具体的には、関経連とアジアの協力合意書締結団体が中心となり、アジアと関西双方の経済発展に向けた企業の役割、連携策を定める。
 - ②これに基づき、個別または複数の企業が連携して企業同士の協力関係の構築の橋渡しをする。
- 関係機関と連携して、各国が抱える課題の解決に向けて取り組む。

各国における三現主義の取り組み

(日中企業家交流会、ベトナム政府との対話会、海外訪問団派遣など)

企業のグローバル化に資する人材の育成と 関西での活躍機会の確保

(アセアン経営研修、留学生支援等の既存の取り組みも継続)

(関経連の内なるグローバル化)

連携・協力先

【文化／観光】万博・IR／MICEの誘致とインバウンド1800万人を実現する

柱となる 事業

- 関西観光本部と連携したインバウンド拡大に向けた方針の策定と実行
- 2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致
- 大阪のIR区域認定に向けた働きかけ
- 文化の継承・発展と魅力発信
- IRを活用したまちづくりの推進、MICE誘致体制づくり

関経連としての取り組み

観光

- ・関西観光本部におけるグランドデザインの策定およびそれに基づく事業の実施（関西一体となったMICE誘致体制づくりなど）
 - ・「はなやか関西」ブランドをはじめとした情報発信と受け入れ環境整備
 - ・フィルムコミッションなども含めた映画の活用
 - ・魅力あるまちづくり
- ⇒これらによるインバウンド・国内観光の推進、観光関連産業の振興

文化

- ・「文化庁地域文化創生本部」と連携した関西各地の歴史・文化などの魅力、「はなやか関西」を活用した関西ブランドの発信
- ⇒長い歴史により蓄積されてきた文化の継承・発展

万博

- ・海外プロモーション
- ・国内機運醸成

IR

- ・区域認定に向けた国への要望
- ・湾岸部と都心部の連携による都市魅力向上
- ・関西一体となったMICE誘致体制づくり（再掲）

連携・協力先

【スポーツ】 スポーツで関西を元気に

柱となる
事業

- トップアスリートの育成
- 生涯スポーツの振興・スポーツ参加者（する×みる）の裾野の拡大
- スポーツ産業振興
- スポーツイベントの招致

関経連としての取り組み

トップアスリートの育成

関西におけるトップアスリートの育成
に向けた産官学による仕組みの構築

生涯スポーツの振興 スポーツ参加者の裾野の拡大

- 生涯スポーツの振興に向けた官民一体になった取り組み
- ゴールデン・スポーツイヤーズを契機とした取り組み
 - ラグビーW杯2019の大阪・神戸開催、WMG2021の関西広域開催の盛り上げ
 - レガシー創出
 - 関西の歴史・文化などの魅力発信（カルチュラル・オリンピアドなど）

スポーツ産業振興

共通

スポーツイベントの招致

産官学による連携体制の構築

連携・協力先

【地方創生】 関西が地方分権推進の突破口となる

柱となる
事業

- 地方分権・道州制の議論喚起
- 関西広域連合との連携深化

関経連としての取り組み

地方分権・道州制の議論喚起

- ・従来型でない意見発信・理解促進
- ・地方創生の好事例の発信
- ・政府・各党への働きかけ
- ・関西広域連合「広域行政のあり方検討会」への参加

関西広域連合との連携深化

- ・各分野での共同事業の実施
- ・国出先機関も含めた連携

連携・協力先

【インフラ】 陸・空・海を総合的に整備・活用する

柱となる 事業

- 複眼型国土の形成・繁栄の多極化に向けた取り組み
- 広域交通・物流ネットワーク整備

関経連としての取り組み

スーパー・メガリージョン（SMR）

SMR形成に向けて関西で準備すべきこと（ソフト・ハード）を取りまとめ、関西のあるべき姿の実現に向けて意見発信

国土強靱化

国・地域・企業のセキュリティ向上に向けた取り組み（南海トラフ地震等に対する防災対策の推進）

鉄道

リニア・北陸新幹線や域内鉄道の早期整備に向けた機運醸成・検討



道路

ミッシングリンクの早期解消に向けた取り組み



空港

関西 3 空港の最適活用



港湾

国際物流戦略チームを活用した利用促進

連携・協力先

【ビジネス基盤】 企業・経済活動の環境を整備する

柱となる
事業

- 経済財政・エネルギー・企業法制・雇用労働における意見発信
- 各テーマにおける企業の取り組み支援

関経連としての取り組み

取り組み

政策提言

企業の実情把握と取り組み支援

テーマ

経済財政

中長期的な経済財政政策の実現に向けた意見発信
(財政健全化に向けた歳出・歳入改革)

環境・エネルギー

関西の特色および企業の実態を踏まえた意見発信

企業法制

- ・社会経済環境の変化および企業の声を踏まえた競争法(独禁法)やコーポレートガバナンスに関する意見発信
- ・会社法改正への対応

雇用労働

- ・「働き方改革実行計画」における中長期課題への対応(柔軟な働き方の実現、多様な人材の活躍、雇用の流動化など)
- ・女性活躍推進、労働法改正への対応

視点

- ・関経連独自の視点からの取り組み
- ・国の特区制度などを活用した規制改革へのアプローチ
- ・提言だけでなく、その後の会員企業への展開促進(政策対応への実務的な取り組み支援や一層の機運醸成)
- ・他テーマとの連携(労働政策×生産性向上、労働政策×税と社会保障、労働政策×健康経営等)

関経連の創立趣旨・使命・役割

1946年に設立された関西経済連合会は2016年に70周年を迎えた。

2020年、さらにその先に向かう活動にあたっては、設立趣旨を基盤とし、その使命・役割を果たすべく、関西はひとつという意識のもと積極果敢に取り組んでいく。

創立趣旨

(原文引用、一部抜粋)

- 産業人の自由なる創意と活潑なる活動を促進
- 産業人自らの主観的判断に基づく旺盛なる企業心を心起し、之が総意の結果を具現化
- 凡ゆる産業人の常に緊密なる連携と、隔意なき意見の交換
- 合理的な考慮と実行力
- 自由なる討議と中正判断

使命

(今後の活動方針 [2007年] より引用)

常に関西全体を意識し、委員会等での企業人の活発な議論を源泉に、先取性や独自性に富んだ調査研究活動を行い、これに基づく政策提言や実践的アクションにより、関西から日本経済の発展をめざしていくこと

役割

(同上)

関西がめざすべき
将来ビジョンと
ロードマップの策定

時代を先取りした
広域性のある
実践的アクション

会員の声を踏まえた
関西らしい
思い切った政策提言

関西の総意形成や
地域が一体となった
取り組みの先導